

(通巻第22号)

2015年度事業報告書



社会福祉法人

サンフレンズ

目 次

I 法人の理念と運営方針	1
1. サンフレンズの理念		
2. サンフレンズの運営方針		
II 2015年度 法人全体の年間事業報告	2
III 職員に関すること		
1. 人数・平均在籍年数・平均年齢	4
2. 採用試験実施回数・採用人数	4
3. 資格保有状況	5
IV オンブズマン報告	6
V 第三者評価結果報告	7
上井草園		
サンフレンズ善福寺		
サンフレンズ訪問介護センター		
上井草ふれあいの家		

Ⅰ 法人の理念と事業の運営方針

社会福祉法人サンフレンズの理念と事業の運営方針は、次のとおりです。この理念と事業の運営方針に沿って、法人を運営します。

1. サンフレンズの理念

(1) できるだけ自由に

・・・画一的、管理的にならず、一人ひとりがその人らしく生きられる。

(2) どこまでも対等に

・・・一人ひとりの人権を尊重し、すべての人が上下関係でなくつきあえる。

(3) 他者への思いを生かし合う

・・・地域社会でともに生きる人々との連携、地球環境、平和への願いを大切にする。

2. サンフレンズの運営方針

(1) 利用者のプライバシーと自立を尊重し、自己実現を助けることを一人ひとりの立場に立って行います。

(2) 利用者、家族、ボランティア、職員、理事がお互いの立場を尊重し、民主的運営を行います。

(3) 他のグループや世代間の交流を図り、生活の質を高め、地域の福祉文化の拠点となることをめざします。

II 2015年度 法人全体の年間事業報告

(1) 健全経営

介護保険報酬改定の時期でもあり、介護保険報酬の減収は法人全体としての収入にも大きな影響があった。中でもデイサービス・訪問介護事業所については年度当初予算の収入見込みと実績の乖離が大きく予算の精度についても課題を残した。

一方、今年度も昨年同様に収入の減少よりも人材の流出による支出の減少幅が大きかった。結果、第三四半期の時点での年度末の法人全体の決算予想で収支差額（収支差額率は約4%）は昨年度並みで着地し、2年連続での黒字化達成の見込みが立ったため、予算通り、職員の賞与を3年ぶりに2カ月から3ヶ月に増額し支給することが出来た。

次年度の予算を作成する際の収入と支出の見込みについては精度を高くするようにし、事業計画上で位置づけている費用のかかる計画が予定通り執行できるように実施をしていきたい。

(2) 地域貢献

今年度は法人事務局に地域福祉推進室を吸収し、新たに地域福祉推進担当を配置した。サンフレンズの介護保険外事業であるSOS事業については地域福祉推進担当課長が主となって1年間、一般社団法人化に取り組み、より自由度の高い事業運営の形に導くことが出来た。

また、各事業所で重点的に取り組んだのは、各種学校の実習生・研修生の受け入れで現業とともに将来の社会福祉人材の育成や社会福祉への興味関心理解が深まるよう実績を重ねることが出来た。

今後は、社会福祉法人制度改革に伴う地域貢献のあり方について政策的な動向を見据えながら法人としての方向性を検討していきたい。

(3) 利用者サービスの向上

今年度の各事業所の利用実績が示す通り、利用者・家族に選んで頂けるサービスの提供については、なお一層の努力が必要である。

ただし、利用者のニーズを確実につかみながら評価が利用実績につながっている事業所もあり、諦めずにこつこつと信頼を得ていくことが結果につながることも明らかになってきた。結果を残している事業所の成功例にも学びながら、事業所単位で3年おきに実施している第三者評価の利用者ニーズ調査結果も活かして、利用者ニーズに応えるサービス提供

を目指していきたい。

(4) 人材確保

今年度は、新卒対策として就職ナビを新たに活用し、就職フェアへの参加も積極的に実施した。また、ホームページをリニューアルして、情報発信力も強化した。結果、人材紹介会社からの人材紹介も一部活用しながらも目標とする人材確保を達成することが出来た。

今後は、当法人に直接申し込みをして頂けるようなホームページをはじめとする各種媒体のフル活用を行うとともに新卒学生については内定辞退率を少なくできるよう就職までのサポートをしていきたい。

また、実習受け入れ先の大学からの紹介によって就職につながったケースもあるので引き続き実習生受け入れも積極的に実施していく。

Ⅲ 職員に関すること

1. 人数・平均在籍年数・平均年齢について

2016. 3. 31 現在の職員状況についてご報告いたします。

	人数	平均在籍年数	平均年齢
常勤職員	108 人	8 年	41 歳
非常勤職員	199 人	7 年	55 歳

2. 採用試験実施回数・採用人数について

2016 年度に開催した職員採用試験の状況についてご報告いたします。

職員採用試験実施回数	受験者数	採用人数
24 回（同日開催あり）	34 人	15 人

3. 資格保有状況

2016. 3. 31 現在の職員の資格保有状況についてご報告いたします。

(2016 年 3 月 31 日現在)

区 分	特別養護老人ホーム		通所介護					計
	上井草	善福寺	上井草	和田	和泉	松ノ木	永福	
総職員数	60	32	38	19	18	21	47	235
(内訳)								
介護福祉士	18	12	10	3	5	7	10	65
実務者研修								0
初任者研修	1	1	1	2			2	7
介護職員基礎研修		1						1
1級ヘルパー					2	1		3
2級ヘルパー	20	7	10	7	4	6	18	72
社会福祉士	7	3	3	2	1		1	17
精神保健福祉士								0
保健師	1							1
看護師	4	2	3	2	2	2	3	18
准看護師	2		1		1		1	5
管理栄養士	1						1	2
栄養士		2						2
調理師		1						1
理学療法士	1	1	6					8
作業療法士			2					2
介護支援専門員	6	3	4		2	4	1	20
合計	61	33	40	16	17	20	37	224

※ 短時間職員含む。重複して資格を持つ者はそれぞれにカウント。

IV 2015年度オンブズマン会議・協力員会議 事業報告

1. 事業計画と事業報告

1. オンブズマン相談会を、6回開催いたします。身近な場所でオンブズマンに直接お話しができる機会を設けます。
オンブズマン相談会を年間を通しての相談者は1名でした。申込みはあっても途中でキャンセルが入ったケースもあります。
2. オンブズマン委員会、協力員会議を開催いたします。利用者、家族の苦情要望を共有し、改善に向けた取り組みを協議します。
苦情要望報告書の件数が4件と少ないため、事例検討は1件ずつ時間をかけて検討しました。苦情要望報告書が事業所でもっとあるけれども提出がないのか、苦情要望自体が事業所であがっていないのか確認が必要です。
3. オンブズマン活動の一貫として、「オンブズマン制度について学ぶ」ことを目的とした職員研修会を実施いたします。法人理念とオンブズマンの実践について学びます。

2. 年間予定と実績

オンブズマン相談会(年6回) 15:00～16:00

日程	場所	相談者数	相談者
平成27年 6月22日(月)	サンフレンズ善福寺	0名	
平成27年 7月27日(月)	サンフレンズ上井草	0名	
平成27年10月26日(月)	和田ふれあいの家	1名	みどりの里住民
平成28年 1月25日(月)	和泉ふれあいの家	0名	
平成28年 2月22日(月)	サンフレンズ上井草	0名	
平成28年 3月28日(月)	永福ふれあいの家	0名	

オンブズマン協力員会(年4回) 16:45～17:45

日程	場所	事例提供事業所	苦情主	エピソード
平成27年 6月22日(月)	サンフレンズ善福寺	上井草支援センター	利用者家族	ケアマネジャーの対応について
平成27年10月26日(月)	和田ふれあいの家	永福ふれあいの家	近隣住民	利用者送迎時に発する騒音について
平成28年 1月25日(月)	和泉ふれあいの家	サンフレンズ善福寺	利用者家族	ユニットフロアの職員不在について
平成28年 3月28日(月)	永福ふれあいの家	上井草ふれあいの家	利用者家族	デイ職員の利用者対応について

オンブズマン委員会(年2回) 16:30～17:30

日程	場所
平成27年 7月27日(月)	サンフレンズ上井草
平成28年 2月22日(月)	サンフレンズ上井草

職員研修 18:00～19:00 講師:大妻女子大学 井上修一准教授

日程	場所	対象職員	出席人数	研修内容
平成27年 7月6日(月)	サンフレンズ上井草	新人～5年未満	15名	オンブズマン制度について知ろう

V 第三者評価結果報告

施設名	上井草園	サンフレンズ 善福寺	サンフレンズ 訪問介護センター	上井草 ふれあいの家
評価機関	株式会社 福祉規格総合研究所			
評価実施期間	2015年7月1日～ 2015年12月25日	2015年7月1日～ 2016年2月3日	2015年7月1日～ 2016年1月25日	2015年7月1日～ 2016年1月25日
全体の評価講評				
特によいと思う点	「できるだけ自由に」「地域社会でともに生きる」との理念の実践はいたるところで見受けられている	随時更新されるホームページにおいて、サービスの詳細をわかりやすく情報提供している	利用者調査では8割を超える多くの方が満足感を示されている	随時更新されるホームページにおいて、サービスの詳細をわかりやすく情報提供している
	専用のボランティア室と受け入れ担当者を配置し、積極的にボランティアを活用している	法人全体で人事考課制度の導入を目指し、職員のモチベーションの維持に努めている	計画的に内部研修を開催し、ヘルパーの育成に取り組んでいる	服薬管理一覧や専用薬ケースを用いて、誤薬を防止する仕組みがある
	随時更新されるホームページにおいて、サービスの詳細をわかりやすく情報提供している	真空調理方法を導入することで利用者の食事摂取時間の柔軟性やユニット職員との協働意識ができてきている	利用者状況に応じた作業手順書の更新を随時行っている	利用者が四季を感じたり、外出を楽しめるような行事に取り組んでいる
さらなる改善が望まれる点	透明性のある人事制度の確立とともに中長期的な展望を示したい	地域に根差す事業所としてさらなる取り組みを期待	内部研修の実施方法を見直し、ヘルパーの育成にさらに取り組んでいく意向である	マニュアル類の見直し・改善を図り、日常的に活用されることが期待される
	限られた職員での食事介助のため余裕をもって安全優先の対応を心がけたい	中長期的な展望に立った、人材の育成プログラムを確立したい	ヘルパーの心得などを活用して、さらなる接遇の向上に取り組んでいく	利用者の人数が少しずつ減っていく夕方の時間帯の活動内容の検討をしている
	外気に触れ気分転換を図れるような外出の機会を増やす取り組みに期待	フロアでの協力強化や外部からの積極的協力を得てレクリエーションの充実を目指したい	様々な方法を通じてヘルパーを募集し、事業を拡大していく	

発行日 2016年5月

社会福祉法人 サンフレンズ

「2015年度事業報告書」

法人事務局

〒167-0023

東京都杉並区上井草3丁目33番10号

電話 03-3394-9833

FAX 03-3394-9834

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>